

【对日汉语教师培训系列】

日本人に教えるための中国語教員トレーニングシリーズ

# 对日汉语 语音教学法

怎样教日本人汉语语音  
中国語の発音の教えかた 日本人学習者にどう教えるか

古川裕（日） 刘富华 主编

刘富华 吕文杰 东孝拓（日） 著



北京语言大学出版社  
BEIJING LANGUAGE AND CULTURE  
UNIVERSITY PRESS

## 对日汉语教师培训系列

日本人に教えるための中国語教員トレーニングシリーズ

# 对日汉语 语音教学法

## 怎样教日本人汉语语音

## 中国語の発音の教えかた 日本人学習者にどう教えるか

古川裕(日) 刘富华 主编

刘富华 吕文杰 东孝拓(日)著



非烹語言文學出版社

BEIJING LANGUAGE AND CULTURE  
UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

对日汉语语音教学法 / (日)古川裕, 刘富华主编;  
刘富华, 吕文杰, (日)东孝拓著. -- 北京: 北京语言  
大学出版社, 2014.10

ISBN 978-7-5619-3955-0

I. ①对… II. ①古… ②刘… ③吕… ④东…

III. ①汉语-语音-对外汉语教学-教学法 IV. ①H195.3

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2014) 第 241356 号

---

书 名: 对日汉语语音教学法

DUI RI HANYU YUYIN JIAOXUEFA

责任印制: 姜正周

---

出版发行: 北京语言大学出版社

社 址: 北京市海淀区学院路 15 号 邮政编码: 100083

网 址: www.blcup.com

电 话: 发行部 010-82303650 / 3591 / 3651

编辑部 010-82303647 / 3592

读者服务部 010-82303653 / 3908

网上订购电话 010-82303668

客户服务信箱 service@blcup.com

印 刷: 北京京华虎彩印刷有限公司

经 销: 全国新华书店

---

版 次: 2014 年 10 月第 1 版 2014 年 10 月第 1 次印刷

开 本: 889 毫米 × 1194 毫米 1/16 印张: 11.25

字 数: 151 千字

书 号: ISBN 978-7-5619-3955-0 / H · 14229

定 价: 36.00 元

---

凡有印装质量问题, 本社负责调换。电话: 82303590

# 前　言

日本文部省公布的数据显示，1993年日本全国有154所高中开设了汉语课，到2009年开设汉语课的高中达到了831所，增长速度惊人。汉语教师的数量已经远远满足不了实际的教学需要。在对日本汉语教师进行培训的过程中，我们发现受训的日本汉语教师大多数自身汉语水平很高，但是教学水平亟待提高，师资培训迫在眉睫，编写适合日本汉语教师使用的培训教材就成了当务之急。

自2004年起，受国家汉办委托，我们承担了日本高中汉语教师培训项目。时至今日，历时九载，由于各方倾尽全力，培训工作取得了令人鼓舞的成果，颇受各方好评。培训过程中，我们不断完善培训材料，这部教材就是在以往培训课程的语音教材的基础上，结合日本高中汉语教师的教学经验、日本汉语学习者的学习经验以及我们的培训经验，反复研磨而成的。

针对性、实用性、趣味性是本教材最重要的特色。

本教材的使用者是日本的汉语教师，在编写的过程中我们充分考虑了这一点，内容都是根据日本汉语教师的实际需要，结合我们对日汉语教学、对日本汉语教师培训的经验精心选择的，充分体现了日本学习者学习汉语语音的重点和难点；本书所提供的教学方法都是针对日本汉语学习者的，比一般的语音教材更适合日本汉语教师采用，比如在教授汉语声调时，我们选择的音节是“衣yī、疑yí、以yǐ、意

yì”，而不是传统的“妈 mā、麻 má、马 mǎ、骂 mè”，就是充分考虑了日本汉语学习者的实际情况，针对性更强。

本书的主体部分——“课堂教学”采用了课堂教学实录的形式，将教学过程完整地展示给读者，为学习者提供了一个范例。读者既可以作为参考，也可以直接借鉴使用。所采用的教学方法充分考虑了日本汉语学习者的实际情况，注意发挥他们的优势，适时引导，突破难点，而且易于掌握，实用性很强。

“课堂教学”部分的语言力求真实，自然；要领讲解都是结合直观图像，边说边做，通过实际操作，自然而然轻松掌握，毫无枯燥感；练习的编排注意充分调动学生积极性，避免课堂沉闷；教材编写过程中，我们始终注意运用直观图片、实物教具、课堂游戏等手段有效地实现教学目标，让学习者学在其中，乐在其中。

除了日本的汉语教师，本书还可以供在华对日汉语教师以及有志于从事对日汉语教学工作的人士使用，亦可作为对外汉语专业的参考教材。

本教材是在教学过程中逐渐完善而成的，是教学经验的积累和升华，希望能对针对日本学生的汉语语音教学作出一些贡献。由于编者水平有限，不当之处在所难免，恳请广大读者斧正。

编者

# まえがき

日本の文部科学省によると、中国語の授業を実施している高等学校の数は 1993 年の 154 校から、2009 年には 831 校まで増加しました。これは驚くべきスピードです。ただ、現在の中国語教師の数はこの需要をまかなえていないというのが現状です。また、私たちが行っている日本の高等学校の中国語教師を対象とした中国語教師養成講座を通して、受講者は中国語能力の点においては十分なのですが、教授方法の習得という点において改善の必要があることがわかりました。これらのことから、中国語教師の養成、そして中国語教師向けの教材の作成が急務だと見えるでしょう。

国家漢弁からの要請のもと、私たちは 2004 年から日本の高等学校の中国語教師を対象とした中国語教師養成講座を実施してきました。養成講座はすでに 9 年目を迎え、各方面からの協力の下、目を見張るような成果を得ることができました。この期間中、養成講座で使用する教材にも改善を重ねてきました。今こうして出版された教材は養成講座で使用している発音教育用教材を基礎とし、さらに日本の高等学校の中国語教師、日本人の中国語学習者、及び養成講座における私たちの経験を加え、何度も研究を重ねて作成されたものです。

本教材の特徴として、読者層を明確に特定している点、実用性を重視している点、そして楽しく学べる点が挙げられます。

この教材は日本の中国語教師を対象に開発されました。教材編集の過程において特にこの点に注意を払いました。教材の内容は、日本の中国語教師からの実際の要求、さらに私たちの日本人学生に対する中国語教育、養成講座を通して得た経験も考慮して選択しました。内容は日本人学習者の発音上の重点と難点を十分に反映したものとなっているはずです。教材の中で紹介している教育法はすべて日本の中国語学習者を対象としており、日本の中国語教師にとって他の一般向けの発音教材よりも使いやすいはずです。例えば、中国語の声調を教えるとき、古典的な「妈 mā、麻 má、马 mǎ、骂 mà」ではなく、日本人学生の状況を考慮して「衣 yī、疑 yí、以 yǐ、意 yì」を使用しています。このように本教材では教える対象を明確に設定しています。

教材の中心部分である「教室での授業」では実際の記録という形式を採用しました。ここでは模範例の一つとして、教える過程をより完全な形で読者に提供しています。読者の方は内容を参考にしてもいいですし、直接授業で使うことも可能だと思います。ここで紹介している教育方法は日本人学習者用に設計されており、彼らの長所を生かして、いかに発音上の問題を解決するかというところに重点が置かれています。教授方法はどれも容易に習得でき、実用性の高いものになっています。

「教室での授業」では実際に使うことができる自然な表現を極力採用しました。重点部分の説明においては、写真や図を多用し、また会話形式によって実際の教える過程が生き生きと記述されていますので、飽きずに読み進めることができると思います。また、練習問題は学生が積極的に参加しやすい構成にしてありますので、活発な授業が期待できます。このように多くの写真や図、道具、ゲーム

などを使用することで、読者が楽しみながら学習できるように努めました。

本教材は日本の中国語教師だけではなく、中国において日本人を教えている中国語教師、そしてこのような仕事を志している方、そして対外漢語専攻の学生の使用にも適しています。

本教材は中国語教師の養成講座を通して、改善に改善を重ねて作られました。私たちが蓄積した教育上の経験をより洗練させたものだと言えます。教材を通して、日本人を対象とした中国語の発音教育の発展に少しでも貢献できればと願っています。また内容において、執筆者の解説の至らないところもあるかもしれません。厳しいご指摘を頂ければ幸いです。

執筆者一同

# 关于本教材

## 教材适用对象

日本汉语教师、在华对日汉语教师以及有志于从事对日汉语教学工作的人士等。

## 主要用途

在日本：



(一) 各种汉语教师培训的教材，如日本高中汉语教师培训、在日孔子学院中国语教员养成讲座、民办机构中国语教员养成讲座等；

(二) 中国语科的专业课教材；

(三) 高级汉语学习者的自学教材。

## 在中国：

(一) 汉语教师培训教材，如国家汉办对外汉语教师培训、民办机构对外汉语教师培训、国际汉语教师志愿者培训等；



(二) 对外汉语专业课教材，如对外汉语本科、国际汉语教育专业硕士、语言学及应用语言学硕士等。

## 教材结构

本教材采用中国老师和日本学生对话的形式编排。教材中出现两个人物：

李老师，男，32岁，中文系毕业，拥有十年的对外汉语教学经验。每年在日本交换生班负责教授发音纠正\*课。日语国际二级。性格开朗。

山田大介，男，21岁，日本某大学中国语学科三年级学生。今年暑假作为交换生来到中国。目前他能听懂基本会话，但汉语发音不太标准。性格比较外向，喜欢用成语表达。

采用对话形式的目的是：

(一) 可以为教学经验少的汉语教师、本科生或者研究生提供鲜活的教学实例。

有些日本老师上课时需要多用汉语讲解，但对他们来说，把语音学的专业描述转化成简单易懂的汉语课堂语言是个难点，本书可以在这方面给教师们提供参考和借鉴。

(二) 使枯燥的语音理论变得更容易理解，可读性强。

目前最常见的汉语教学模式是“一对多”，但是本教材提供的是“一对一”模式的教学案例。因为“一对一”模式教学效果更好，也更便于展示语音教学的过程。编者希望读者通过“一对一”的例子细致\*了解语音教学的具体内容，进而应用到“一对多”的语音教学中去。



每章由以下三个部分组成：

(一) 课前准备

读者阅读“课堂教学”之前，应该简单想想“如果让我教，我该怎么讲”。同时要查阅\*现代汉语教材里的相关内容。要注意的是这些教材里的内容一般不能直接教给学生，读者需要进行适当的加工，变成教学对象（山田）容易理解的形式。为了提高下面的“课堂教学”的阅读效率，每课的这一部分还给读者提供了简单的“课前思考题”。

(二) 课堂教学

这一部分是教材的核心\*内容。阅读这部分内容时，读者不仅要充当旁听的教师，还要充当听课的学生。这里提供的是语音教学的实际例子，读者可以借鉴，也可以评价，觉得不妥\*的地方还可以在“课后感受”部分写下来。

读者根据“课后感受”部分的记录讨论李老师授课的优缺点，然后按照本教材设计的题目进行思考。思考和讨论的过程可以使读者掌握本教材介绍的教学法，对课堂内容及相关语音知识有更深刻的理解。教材还提供了思考题的部分提示性答案。

“课前准备”和“课后讨论与思考”力求简明，适当地使用了一些专业术语；“课堂教学”部分力求贴近\*真实的课堂教学，尽量避免使用专业术语，做到通俗\*易懂。至于有些难懂的词，在课文里我们用星号来标记（例：通俗\*），并在书后面的“词语注释表”里列出读音及日译。

教材最后还设计了“课堂游戏”，里面是在“一对多”语音教学中可以使用的课堂游戏，供读者选用。

# 本教材について

## 教材の対象

日本の中中国語教師、中国において日本人に教えている中国語教師、または将来日本人を対象とした中国語教育の仕事に携わりたい方等。

## 主な用途

### 日本において

(一) 各種中国語教師養成講座の教材として。例えば、日本の高等学校中国語教師養成講座、日本の孔子学院中国語教員養成講座、民間の中国語教育養成講座等。

(二) 中語語科の専門科目の教材として。

(三) 上級レベルの中国語学習者の自習用教材として。

### 中国において

(一) 中国語教師養成用教材として。例えば、中国国家漢弁の对外漢語教師養成講座、民間の对外漢語教師養成講座、国際漢語教師ボランティアの養成講座等。

(二) 对外漢語專攻の教材として。例えば、对外漢語專攻の学部、国際漢語教育専攻の修士、言語学及応用言語学の修士等。

## 教材の構成

この教材では中国人教師と日本人学生との対話形式を採用しました。登場するのは以下の二人です。

男性、32歳、中国語学科卒業。对外漢語教育に携わって十年になる。毎年、日本人交換留学生のための発音の授業を担当している。国際交

流基金日本語能力試験二級。性格は非常に明るい。

男性、21歳。日本の某大学の中国語学科三年生。今年の夏休みに交換留学生として中国にやってきた。基本的な中国語会話は理解できるが、発音はまだあまりよくない。性格は比較的に外向的で、成語を使って表現するのが好きだ。

対話形式を採用した理由は以下の通りです。

(一) 教育経験の浅い教師、または学部や修士の学生に教育現場での実例を提供することができます。

また、日本人の中国語教師は授業において、ある程度以上中国語で講義をすることが求められることがあります。しかし、彼らにとって難しいのは音声学の専門的な内容をいかに簡単でわかりやすい中国語で表現するかという点です。本書はこのような点で読者をサポートします。

(二) 退屈だと思われがちな音声の理論をより分かりやすく、より読みやすく伝えることができます。

現在、一番多いのは「一对多（訳注：一人の先生と複数の学生）」形式の授業です。しかし、この教材では「一对一（先生一人と学生一人）」形式の授業を例に取り上げました。なぜなら、「一对一」の授業は効果が高く、また発音教育の過程を紹介するのに便利だからです。読者の方にはこの「一对一」の例を通して発音教育の内容をしっかりと理解してもらい、それを基に「一对多」の形式へと発展させてもらえればと思います。

各章は以下の三つの部分から構成されています。

### (一) 授業前の準備

皆さんはまず「授業前の準備」を読んで、「もし自分が先生だったらどのように教えようか」と考えてみてください。同時に、現代漢語などの教材で関連内容を確認するようにしてください。注意しなければいけないのは、現代漢語の教材の内容は多くの場合直接日本人学生に教えるには不向きだということ

## (二) 教室での授業

です。教師は内容を適切に加工し、教育対象である山田君に適した形式に変える必要があります。また、次の「教室での授業」の内容をより効果的に理解するために、簡単な「授業前の思考問題」を用意してあります。

この部分は教材で最も重要な部分です。内容を読むとき、授業参観の先生として、また授業を受けている学生になったつもりで読んでください。ここで紹介する方法は発音教育の一つの実例です。読者は自分の授業に取り入れてみてもよいし、また授業の良し悪しの判断をしてみるのもよいでしょう。李先生の教え方について不適切だと思う点は「授業後の感想」の部分に書き込んでください。

## (三) 授業後の討論と考察

「授業後の感想」部分にメモした内容に従つて、李先生の講義の良し悪しについてみんなに討論してもらいます。その後、本教材が提供しているテーマについても討論します。討論をすることによって、教授法、発音に関する理論についてさらに理解が深まるはずです。討論テーマの一部には簡単な答えもしくはヒントを用意しています。

「授業前の準備」と「授業後の討論と考察」の部分において、簡潔さを求めるために専門用語を適切な形で使用しました。「教室での授業」の部分では、実際の授業にできるだけ近づけることを目的とし、専門用語の使用を極力抑えました。本文の中で難易度が高いと思われる単語には星印が表示してあります（例えば「通俗\*」）。教材の後ろの部分の「単語解説表」において、これらの単語のピンインと日本語訳を記述しました。

教材の最後に「授業用ゲーム」を考案しました。「一対多」形式の授業で使えるゲームです。

# 目 录

## 目 次

| 参考文献        |                | 式大字(0-10) | 音外JIS規格表  | 159 |
|-------------|----------------|-----------|-----------|-----|
| 前言          | 参考文献           | 古文書の井上    | 十         | 1   |
| まえがき        |                | 時代十部表     | 一十        | 3   |
| 关于本教材       |                | 簡代十の表     | 五         | 6   |
| 本教材について     |                |           |           | 9   |
| ECD         |                | 歴代的教科書    | 介語のルーツと発展 |     |
| 131         |                |           |           |     |
| 二、怎样教发音器官   | 発声器官の教え方       | 1         |           |     |
| ◎ 发音诊断表     | 発音診断表          | 11        |           |     |
| 132         |                |           |           |     |
| 二、怎样教声调     | 声調の教え方         | 15        |           |     |
| ◎ 录自己的声音    | 自分の声を録音する      | 28        |           |     |
| EHI         |                |           |           |     |
| ◎ 快速 / 慢速播放 | 再生速度を速く / 遅くする | 31        |           |     |
| far         |                |           |           |     |
| 三、怎样教单韵母    | 単韻母の教え方        | 36        |           |     |
| sat         |                |           |           |     |
| 四、怎样教声母 (一) | 声母の教え方 (一)     | 50        |           |     |
| sat         |                |           |           |     |
| 五、怎样教复韵母    | 複韻母の教え方        | 68        |           |     |
| car         |                |           |           |     |
| 六、怎样教声母 (二) | 声母の教え方 (二)     | 77        |           |     |
| 寄り合         |                |           |           |     |

|   |     |
|---|-----|
| 七、怎样教前后鼻音<br>前鼻音と奥鼻音の教え方  | 87  |
| 八、怎样教变调<br>変調の教え方   | 97  |
| 九、怎样教轻声<br>軽声の教え方   | 105 |
| 十、怎样教儿化音<br>r化の教え方  | 113 |
| 十一、最后十分钟<br>最後の十分間  | 120 |
| <br>书名：对日汉语教学法<br>DU 课堂游戏的介绍 JIYUN JIAOXUEFA<br>责任者：姚正刚 授業用ゲームの紹介 | 123 |
| <br>“课后讨论与思考”部分参考答案与提示<br>「授業後の討論と考察」の一部解答とヒント                    | 132 |
| <br>词语注释表<br>単語解説表  | 143 |
| <br>附录（一）国际音标简表<br>付録（一）国際音声記号簡易表                                 | 151 |
| <br>附录（二）汉语拼音方案<br>付録（二）漢語ピンイン方案                                  | 152 |
| <br>附录（三）普通话声韵配合总表<br>付録（三）普通語声母—韻母組合せ表                           | 155 |

参考文献

了汉语课。到 2009 年开设汉语课的高中达到了 831 所，增长速度惊人。汉语教师的数量已经远远满足不了实际的教学需要。在对日本汉语教师进行培训的过程中，我们发现受训的日本汉语教师大多数是汉语水平很高，但是教学水平亟待提高。师资培训迫在眉睫，培训适合日本汉语教师使用的培训教材就成了当务之急。

自 2004 年起，受国家汉办委托，我们承担了日本高中汉语教师培训项目。时至今日，历时九载。由于各方倾尽全力，培训工作取得了令人鼓舞的硕果。深蒙各方好评。培训过程中，我们不断完善培训材料。这部教材就是在以往培训课题的语言教材的基础上，结合日本高中汉语教师的教学经验、日本汉语学习者的学习经验以及我们的培训经验、反复琢磨而成的。

针对性、实用性、趣味性是本教材最重要的特色。

本教材的使用者是日本的汉语教师，在编写的过程中我们充分考虑了这一点，内容都是根据日本汉语教师的实际需要，结合我们对日语桥教学、对日本汉语教师培训的经验精心选择的，充分体现了日本学习者学习汉语语音的重点和难点；本书所提供的教学方法都是针对日本汉语学习者的，比一般的语音教材更适合日本汉语教师采用，比如在教授汉语声调时，我们选择的章节是“衣 yī、疑 yí、以 yǐ、意